



鹿児島県内では、既に3つのジオパークが認定されています。今回、ご紹介するジオパークは、令和6年2月に事務局メンバーが視察に訪れた霧島ジオパークです。鹿児島空港を利用する皆さんは、出発ロビーの窓から美しい霧島連山の姿を見たことがあるでしょう。霧島ジオパークはこの霧島連山の火山群を中心とし、鹿児島県の霧島市、曾於市、湧水町、宮崎県の都城市、小林市、えびの市、高原町から成る広域なジオパークです。

ジオパークエリアの中心には、活火山群である霧島連山があります。霧島連山は20を超える活火山があり、様々な火口が見られます。また、火山活動に伴う溶岩流や火砕丘や、加久藤カルデラや小林カルデラなど、大小様々な火山に関する地形を楽しむことができる点は、霧島ジオパークの大きな魅力です。さらに霧島連山の麓では、豊かな湧水や温泉を通じた火山と人々との暮らしの繋がりが、石橋や石蔵などの火山の石文化や神話や祭事など、火山の恩恵を受けたに生活や文化が発達し、これも霧島ジオパークの魅力となっています。

この霧島ジオパークの拠点、標高1200mのえびの高原に建てられた、とても立派な「えびのエコミュージアムセンター」です！このセンターから、最も近い火口はなんと500m!! センターの2階からは、<sup>いおうやま からくだけ</sup>硫黄山や韓国岳などの大迫力の景観を見ることができます。ここは、霧島錦江湾国立公園のビジターセンターも兼ねており、霧島連山の登山に訪れる人が、登山コースや噴火に関する情報を得ることができます。また、センター内には、火山と火山活動の歴史について実物の岩石や地層の展示や最新のプロジェクションマッピングを用いて紹介されているほか、霧島ジオパーク内の火山地域の生態系や文化の解説が解



えびのエコミュージアムセンター内の展示



りやすく紹介されていました。私たちは、霧島ジオパークを訪れる人が、その地域の知識を得て安全に楽しむことができる機能をもったこのセンターを視察し、ジオパークにおける拠点施設の重要性を認識しました。さらに、霧島ジオパークでは、様々な企業団体とパートナーシップ協定を締結しています。その中でも、都城市の霧島酒造（株）とも協定を結び、ジオツアーでの工場見学や親子で酒造工場見学するイベントを開催しています。このような地域の企業とジオパークとの繋がりについても、喜界島ジオパーク（構想）において大変参考になり、これらの視察の成果を今後の喜界島ジオパーク（構想）に活かしていきたいと考えています。皆さんも、ぜひ霧島ジオパークを訪れてみてください！

←霧島ジオパーク範囲図